

千葉県認知症多職種協働研修
連携のあり方 進行表（ファシリテーター用）

課目：連携のあり方

内容：事例に基づく連携方法の確認 13：00～16：00（165分+休憩15分）

※事例は、昼休み中に読んでおくよう指示しておく。

内容	形式	時間	具体的内容	資料	ポイント
○本課目のねらい ○全体の進め方	講義 5分	13:00 ～ 13:05	○本課目のねらい説明 ○全体の流れ（時間配分）事例 検討方法について説明		
(1) 事例について、各 メンバー（専門 職）が考える課題 とその課題を解 決するためにで きることについ て考えをまとめ る	個人ワ ーク 20分	13:05 ～ 13:20	○アイスブレイキング（15分） ・1人2～3分程度 例：「今はまっていること」 ・司会と書記、発表者を決める ○事例について、自分が考える 課題と、課題を解決するた めに、①自分の職種でできること ②他の職種に求めること ③長期的な視野に立ち、今後取 り組むべき課題と専門職とし ての役割を考えてみる。（自分 の職種に限定しなくてもよい） ④明日からできること について、ワークシート1に記 入する。をよく読み全体像を把 握し、事例の望んでいること について、ワークシートに記入 する。 ※専門職としての視点を活用 し掘り下げる。	ワークシ ート1の活用	○個人ワーク の前に事例の 見方の視点を 説明する。 ・ポジティブ な視点（本人 のできるこ と）で見る ・事実の積み 重ねをする ・本人が望む 暮らし＝ニー ズではない 参考：ニーズ （課題）の整 理の視点を大 切にする ・顕在化して いない潜在化 しているニー ズはないか確 認する ・考えられる 事例の将来像 の解説をする ・③は、ワー クシート2の No3につなが る。

(2) 休憩	15分	13:40 ～ 13:55	休憩		・情報交換、 名刺交換の 場とする
(3) 多職種間の 役割分担と共有	GW 80分 まとめ 準備 15分	13:55 ～ 15:30	①事例の共通理解 医療的視点と介護福祉的視 点と相互関連・生活への影響な ど総合的に見る ②自分の職種として支援でき ることを考える ○自分の専門職の役割を伝え、 専門職の特徴を認め合う。 ③他の職種に求めることを考 える ④多職種間の役割分担・協働 について ○ワークシート2を基に話し 合い ①～④について話し合われた ことをまとめて発表準備。	ワークシー ト2の活用	・午前中の講 義を思い出し てもらおう ・ネガティブ な意見をだす のではなく、 ポジティブな 視点（本人の できること） を大切にす ること
(4) 原則、全グ ループの発表 (ただし、時間配 分の関係で活発 な意見交換が実 施されていたグ ループ等代表し て発表の場合も あり)	発表 ・ まとめ 30分	15:30 ～ 16:00	・各グループから、グループ討 議内容について発表、全体で共 有する。 ・まとめ（本課目のねらいを達 成できたか確認）		・話し合われ た内容を各グ ループメンバ ー間、受講者 全体で共有で きる ・明日からの 多職種協働に つなげる